



### 大環狀路線工事に着手

東京市外を取まく大環狀路線は、大東京實現の前提として大正十八年までに完成する事になつてゐたが、震災で中絶したのを今年度から工を新たにして廿三年までに完成する事になつた。環狀線は品川から大崎目黒澁谷千駄ヶ谷を経て、高田西巢鴨王子三河島寺島吾嬬から砂町に至る全長八里二丁五十七間、幅十二間の大道路である、又之を交はつて都心から出る放射線は、總延長八里に及び同じく二十三年までに完成する豫定である、この兩線は人道コンクリートのブロックで、車道はアスファルトで舗装し並木道をも設ける事になつてゐるが、工事を進める爲近く大增員を行つて着工するはずである。

### 木曾川の鐵橋修理

關西線木曾、揖斐兩鐵橋は今度いよいよ修理する事になり、鐵道省では過日研究所長那波博士を派し、ストレンクスメーターその他の精巧な機械で細かい調査をし、二百呎の橋桁廿八本を橋臺卅本に、鐵をコンクリートで膏藥貼の修理を施すことになつたが少くも六十萬圓の費用がかかる見られてゐる、同鐵橋は那波博士が關西鐵道株式會社の技師長時代に架けたもので同博士には縁深いものである由。

### 新設備の三燈臺

大連港外の三孤島に燈臺建設の計畫は愈々決定したので直に着工し本年十一月中には全部完成の見込である、三島は圓島、遇岩、黃

白嘴である圓島には日本で初めての無線電信の方向指定設備があり、同燈臺看守の官舎として大連寺溝兒にコンクリート二階建四棟も同時に建築されることになつた。黃白嘴は最も大連に近い爲め特に大連から電氣を引いて霧警號を電氣仕掛けし、そのスキツチを遠く大連で動かすことになつてゐる、勿論兩島も無人島で看守を置かない所謂無守人燈臺なのである。

### 東京驛前の照明交通

東京鐵道局は先に數千圓の費用をかけて東京驛前に動物園式交通整理をやつたが、一向成績が上らないので、今年度は三十萬圓程の豫算で本式の工事を始め、八九月頃までには大體の設備をつけたい云ふ、それは人道車道の區別自動車置場に就いては概ね現在の通りだが車道と人道の交叉點には道路の表面にガラス張りの照明設備を埋め、定時毎に自動的に回轉明滅し、進め止れが出来るやうになる、人道はコンクリート、車道はアスファルトで人道より三寸低くし、その中間に、つゝじ、櫻、楓プラタナス等を植え、驛前中央の圓形の植込をもつて擴げ、日蔭を豊かにし、夏日、ベンチに休憩が出来る様になる、尙市電車道も整理するために、鐵道、東京市、内務省、警視廳の役人が顔合せをやる事になる。

### 多摩川橋梁成る

東京府が大震災で一時工事を中止した多摩川二子の渡しの橋梁も、昨年再び工事に着手し目下橋桁の工事中で、六月初旬には完成の豫定である、此の工事には東京府が五十二萬圓

## 工 事 タ イ ム ス

を投じて居り、之が多摩川に架けられる唯一の橋梁で東京府と神奈川縣とを聯絡する主要な位置(厚木街道)にあり、現在でも毎日一萬人以上の人が渡船で往復してゐるので竣工の一日も早からん事を期待してゐる、橋梁は幅員四間半、長さ二百三十間、完成の暁は多摩川電車が對岸まで延長される筈である。

### 重要鐵道改良と

#### 新線建設工事

鐵道省では本年度中に施行すべき重要工事で下記の如し。

#### 重要改良工事

##### 一、十四年度中に完成するもの

程ヶ谷、大船間(複々線)  
吹田、原間(複線)  
新宿、信濃町間(複々線)  
松永尾道間、廣島已斐間、大野浦玖波間  
厚東厚狹間(複線)  
奈良、大和、小泉間(複線)  
藤代、佐貫間(複線)  
美唄、砂川間(複線)  
敷生、幌別間(複線)  
東京上野間電車線(複線)

##### 二、完成に至らざるも工事施行中のもの

田端大宮間複々線  
熱海線トンネル工事  
横濱小田原間複線  
京都鷹取間複々線工事  
越中島線工事  
山陽線複線工事  
關西線木曾川揖斐川鐵橋工事  
城東貨物線工事  
大阪臨港線工事  
品川鷓見間貨物線工事  
飯田町中野間複々線工事  
名古屋驛擴張工事  
大阪驛擴張工事  
鶴見操車場工事

岩見澤、青森、郡山、小山、大宮、田端、  
烏栖等操車場工事  
隅田川驛擴張工事  
青森函館連絡工事  
福島、金澤、濱松、岡山、櫻ノ宮、秋葉原  
上野、王子、小名木川其他各驛擴張工事  
新線建設工事

##### 一、全通するもの

山田高知須崎間鐵道、舞鶴峰山間鐵道、相生美幌間鐵道、帶廣士幌間鐵道、松川川俣間鐵道

##### 二、一部區間の開通

小串、萩間鐵道中  
肥薩線鐵道中  
能代、五所川鐵道中(森田、鯉澤間)  
伯備線中(宍粟、美袋間)  
西條、松山間鐵道中(大井、菊間間)  
音威子府、稚内間鐵道中(間寒別、幌延間)  
高松、徳島間鐵道中(高松、志度間)  
久留米、大分間鐵道中(湯平、北由布間)  
小串、萩間鐵道中(小串、瀧部間)  
郡山、大宮間鐵道中(山方宿、上小川間)  
松田、勝浦間鐵道中(太海、鴨川間)  
一ノ關、大船渡間鐵道中(一ノ關、摺澤間)  
長萬部、輪西間鐵道中(輪西、紋鼈間)  
和歌山、相可間鐵道中(川添、三瀬谷間)  
宮地、犬飼間鐵道中(竹田、玉來間)  
八戸、久慈間鐵道中(種市、八木間)  
濱田、山口及益田、萩間鐵道中(萩、東萩間)  
長岡、高崎間鐵道中(鹽澤、湯澤間)  
釧路、網走間鐵道中(北濱、斜里間)  
和歌山、相可間鐵道中(箕島、宮原間)  
七尾、輪島間鐵道中(七尾、和倉間)  
和歌山、相可間鐵道中(三瀬谷、瀧原間)  
岐阜、高山間鐵道中(上麻生、白川口間)  
西條、松山間鐵道中(菊間、北條間)

##### 三、新に建設に着手

甲府、丸瀧間鐵道、長尾、原田間鐵道、太

田、多治見間鐵道、ルベシベ、遠輕間鐵道、峰山、豊岡間鐵道、松山、八幡濱間鐵道、國縫、瀬棚間鐵道、木更津、大原間鐵道、名張、松坂間鐵道、姫路、津山間鐵道、三原、吳間鐵道、岩國、徳山間鐵道、肥前山口、諫早間鐵道、國分、都城間鐵道、仙臺山形間鐵道、

### 郊外下水の大改良

東京都制の實施を見越して東京府では近接五郡三十二箇町村の下水改良の大計畫を樹て、大正十年以來基礎調査を進めてゐるが、大體の設計は完成し、今年度から愈々着工することになつた、この改良工事は市の下水工事に聯絡を取り、その地形に應じて流下する方針である、工費は三分の一を國庫から、六分の一を府から、他は町村負擔の筈である。

### 銚子漁港修築設計協議

前年議會を通過したるチョウシの漁港修築計畫は既に地方廳の起工認可も受け十三年度より工事に着手するのであるが、同港の修築設計に關し内務省は治水の見地より、農林省においては漁港としての見地より、その設計上に意見の相違があつて今回之が解決の必要上内務省掘切土木局長、市瀬技監と三上阿部の兩農林次官、松村水産局長等は十六日農林省において協議する所あつたがまだ決定に至らぬこの事である。

### 大阪市の月賦賣住宅計畫

大阪市が政府から借り入れた低資で建てる約

九十二戸の月賦賣住宅は、まだ場所も決定せず、市ではまだ正式に受付けてゐないのに早くも各方面から申込之照會が續々殺到する、愈々申込を受付けてから多數の申込者ご何う云ふ風に販賣契約するかに就いて當局は頗りに悩んでゐる、從來の住宅組合についても兎角非難があつたので、今度は申込順に依らず、嚴正な抽籤をする方針であるが更に、(一)妾を圍ふもの、(二)老人の樂隱居所にあてる者、(三)店舗を張るもの、(四)ブローカー式のこゝをする者等は市から拒絶し、主として俸給生活者のみを標準とする、尙一戸宛、四、五百圓の保證金を前納させ、規定の十五箇年經たぬ間に賣逃なきしたものには一切返却せぬやうな方法を考へてゐる。

### 撤去される敦賀突堤の燈臺

敦賀築港の擴築工事は着々進捗し近く兒屋川尻の突堤が撤去される運びに至り、同突堤にある明滅燈臺も共に取除けらるゝの事であるが、此の燈臺は赤色明滅燈で八哩の光力を有し、敦賀築港にある白色明滅燈に比較するに二哩の光力が弱いにも拘はず入港する船舶が殆んどこの赤色燈臺を目標にするため、當港においては實に重要なものとなつてゐる。すべて海の人がうける燈臺の有難きは、陸の人には想像もつかぬところで従つて燈臺の使命の重大は今更喋々をまたない、今回當港の門標もいふべき燈臺が撤去されるについては、いづれもこれに代ふるに新しく浮標でも新設し、この使命をつくさねばならぬが、これは築港工事費から購入されて完備の上航路標識管理所に引渡される筈である云々

## 趣味寫眞入選印畫 (本號三頁)

福島縣若松市停車場構内  
鐵道省長岡建設事務所若松詰所

當選者 山本 一 雄

準 備

大正十四年三月十七日午後一時福島縣下鐵道省會津線第一工區大川橋梁工事場イーストマン、ベストロダック下六・九、較八・二十五分之一、プロモイール紙に引伸キヤビネ判メトリルハイドロキソ現像液。

## 原稿締切日

發行日は 毎月 十五日

寫眞及圖面の締切日は 發行前月 五 日

原稿締切は 發行前月 十 日

廣告寫眞製版を要するものの締切は發行前月 十日  
廣告原稿締切は 發行前月十五日